

横須賀市立横須賀総合高等学校（全日制） グランドデザイン

◎ 横須賀市教育振興基本計画、横須賀総合高等学校のスクール・ミッション

横須賀の目指す教育の姿

“あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり”

◎ スクール・ポリシー

（学校教育目標）

一人一人の良さを伸ばし、自ら学び、主体的に考え判断し、行動できる、心豊かでたくましく生きるかに溢れた人間を育成する

～あたたかく、活力があり、愛し愛される学校～

◆ 育成を目指す資質・能力に関する方針《グラデュエーション・ポリシー》

（このような力を育てます）

- ・ 自立心・自律心と責任感
- ・ 自他ともに尊重できる心
- ・ 自己の将来の夢を真摯に見つめ努力する力
- ・ 勉学や特別活動に努力し、人格の完成を目指そうとする力
- ・ 創造性豊かな自分の考えを論理的に説明できる力
- ・ 国際的な視野をもった教養と語学力
- ・ 先進の情報コミュニケーション技術を駆使する力
- ・ 横須賀の良さを世界に発信する力

◆ 教育課程に関する方針《カリキュラム・ポリシー》

（このような教育活動を行います）

- ・ 総合学科の特色を生かし、個々の目標に沿ったキャリア教育（自己選択・自己責任）
- ・ 幅広い系列と選択科目から主体的に選択し、個々の夢の実現に相応しい時間割
- ・ 「産業社会と人間」で、自己と社会理解、将来の生き方や進路についての考察
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、生徒が学びの主体となる授業
- ・ 誰もが参加しやすい授業（インクルーシブ教育の視点）
- ・ 各科目等の学習内容を関連付けたカリキュラム・マネジメントに基づいた授業
- ・ 「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現させる授業
- ・ 地域に根付いた、横須賀の良さを再認識できる活動
- ・ ユネスコスクール、ESD、SDGsに関する組織的な取組

◆ 入学者の受け入れに関する方針《アドミッション・ポリシー》

（このような生徒を待っています）

- ・ 自分の夢や目標実現等、高い目的意識をもっている（もとうとする）生徒
- ・ 自分の可能性を信じ、より意欲的に努力を続けられる生徒
- ・ 他者を大切にできる生徒
- ・ 横須賀の良さを再確認し、世界に伝えようという意欲のある生徒
- ・ 授業以外の教育活動にも積極的に取り組み、根気強く頑張れる生徒

1. 主体的に学習に取り組む態度の育成を図る

- ・ 生徒が主体的な学びを行う授業を実践するために、単元・題材ごとの指導計画・評価計画を生徒に事前に説明し見通しを持たせる。こうした授業実践を教員間で相互に研修することを充実させる。
- ・ 生徒から授業内容に即した質問が出る授業は活性化し、生徒の授業に向かう意欲を高める効果があるので、生徒からの質問を促す取組を取り入れ実践する。
- ・ 効果的なICT機器の活用を研究・実践し、その成果を教員間で情報交換する。
- ・ ESDの視点に立った学習を行う能力や態度を生徒に育成する。

2. 「産業社会と人間」及び「羅針（総合的な探究の時間）」の充実を図る

- ・ 探究のプロセスである「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」を生徒に徹底して教授し、各年次の目標に見合ったまとめ・発表を行う。
- ・ 生徒の学習の途中経過を把握し、現状分析や原因究明等の弱点を指摘する。
- ・ 生徒に弱点を指摘した際には、前の段階に戻って調査すること等を指導する。

3. 理解と共感のある生徒指導により人権教育の推進を図る

- ・ どの人も人生経験や社会的役割分担が違っていても人としては対等であり、どの人も他者を見下したりばかにしたりしてはいけないことを生徒に指導する。
- ・ 「生徒心得（校則）」は教材として活用し、生徒自身の将来を見据えたうえで現在の生活態度等を考えさせる指導を行う。
- ・ これらの指導は、各教科の授業、特別活動、総合的な探究の時間、学校行事、部活動等のあらゆる教育活動において実践する。

4. 履修指導において、3年間で80単位以上の履修となるよう指導する。

- ・ 多くを学び、広い知識や技能・技術を習得し、将来に向けて人としての幅を広げていくことを指導する。「できない」を学ぶことで「できる」に変えていく。
- ・ 自分自身に適切な負荷をかけることで自分自身が成長できることを生徒に指導する。「成長は挑戦することで得られる」
- ・ 神奈川県立の総合学科高等学校では卒業単位が80単位以上の修得であることを踏まえ、生徒の能力を高めるために物事を「俯瞰」して考えることを指導する。「井の中の蛙大海を知らず」にしない。

横須賀市立横須賀総合高等学校（定時制）グランドデザイン

◎ 横須賀市教育振興基本計画、横須賀総合高等学校のスクール・ミッション

横須賀の目指す教育の姿

“あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり”

◎ スクール・ポリシー

（学校教育目標）

一人一人の良さを伸ばし、自ら学び、主体的に考え判断し、行動できる、心豊かでたくましく生きる力に溢れた人間を育成する

～あたたかく、活力があり、愛し愛される学校～

◆ 育成を目指す資質・能力に関する方針《グラデュエーション・ポリシー》

（このような力を育てます）

- ・ 自立心・自律心と責任感
- ・ 自他ともに尊重できる心
- ・ 自己の将来の夢を真摯に見つめ努力する力
- ・ 勉学や特別活動に努力し、人格の完成を目指そうとする力
- ・ 創造性豊かな自分の考えを論理的に説明できる力
- ・ 国際的な視野をもった教養と語学力
- ・ 先進の情報コミュニケーション技術を駆使する力
- ・ 横須賀の良さを世界に発信する力

◆ 教育課程に関する方針《カリキュラム・ポリシー》

（このような教育活動を行います）

- ・ 総合学科の特色を生かし、個々の目標に沿ったキャリア教育（自己選択・自己責任）
- ・ 幅広い系列と選択科目から主体的に選択し、個々の夢の実現に相応しい時間割
- ・ 「産業社会と人間」で、自己と社会理解、将来の生き方や進路についての考察
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、生徒が学びの主体となる授業
- ・ 誰もが参加しやすい授業（インクルーシブ教育の視点）
- ・ 各科目等の学習内容を関連付けたカリキュラム・マネジメントに基づいた授業
- ・ 「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現させる授業
- ・ 地域に根付いた、横須賀の良さを再認識できる活動
- ・ ユネスコスクール、ESD、SDGsに関する組織的な取組

◆ 入学者の受け入れに関する方針《アドミッション・ポリシー》

（このような生徒を待っています）

- ・ 自分の夢や目標実現等、高い目的意識をもっている（もとうとする）生徒
- ・ 自分の可能性を信じ、より意欲的に努力を続けられる生徒
- ・ 他者を大切にできる生徒
- ・ 横須賀の良さを再確認し、世界に伝えようという意欲のある生徒
- ・ 授業以外の教育活動にも積極的に取り組み、根気強く頑張れる生徒

1. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る

- ・ 生徒が主体的な学びを行う授業を実践するために、単元・題材ごとの指導計画・評価計画を生徒に事前に説明し見通しを持たせる。こうした授業実践を教員間で相互に研修することを充実させる。
- ・ 各教科指導において、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を行うための教材研究及び授業実践を行い、教員間で相互に研修することを充実させる。
- ・ 生徒から授業内容に即した質問が出る授業は活性化し、生徒の授業に向かう意欲を高める効果があるので、授業に生徒からの質問を促す取組を取り入れ実践する。
- ・ 効果的なICT機器の活用を研究・実践し、その成果を教員間で情報交換する。
- ・ ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度を育成する。

2. 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」「職業と進路」の充実を図る

- ・ 探究のプロセスである「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」を生徒に徹底して教授し、各年次の目標に見合ったまとめ・発表を行う。
- ・ 生徒の学習の途中経過を把握し、現状分析や原因究明等の弱点を指摘する。
- ・ 生徒に弱点を指摘した際には、前の段階に戻って調査すること等を指導する。
- ・ 本校定時制の生徒には、まだまだ伸びる余地がたくさんあることを踏まえ、常に少し高度なことに挑戦するよう促す指導を行う。

3. 理解と共感のある生徒指導により人権教育の推進を図る

- ・ どの人も、人生経験や社会的役割分担が違っていても人としては対等であり、どの人も見下したりばかにしたりしてはいけないことを生徒に指導する。
- ・ 校則は教材として活用し、生徒自身の将来を見据えたうえで現在の生活態度等を考えさせる指導を行う。
- ・ これらの学習活動は、各教科の授業、特別活動、総合的な探究の時間、部活動等のあらゆる教育活動において実践する。